

# ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035  
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

## 本の面白さ、小学生が「帯」で表現

### 大阪でコンクール、ベルマーク賞も



児童書を紹介する「帯」を小学生がデザインする「大阪こども『本の帯創作コンクール』」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)の入賞作が決まり、11月10日に大阪府立中央図書館で表彰式がありました。13都府県の305校から1万2931点の応募があり、今年から創設されたベルマーク賞を含む113点選ばれました。

課題図書部門(低、中、高学年)と自由図書部門(全学年)があり、大阪読書推進会長の宮川健郎・武蔵野大教授らが審査にあたりました。課題図書部門で府知事賞、朝日新聞社賞、大阪国際児童文学振興財団賞に選ばれた9点は、実際に本の帯となり、おもに大阪府内の主要書店に並びます。

ベルマーク賞は、課題図書「さるとびすすけ愛とお金とゴキZのまき」(宮西達也・作絵、ほるぷ出版刊)をとりあげた高槻市立真上小学校4年の市川翔子さんの作品。ニンジャがっこうで、先生から「一人前のニンジャになるために世界で一番大切なことは何か」と質問された「さるとびすすけ」らが巻き起こす、奇想天外なストーリーの本です。

「すすけたちの愛のものがたり!」「ニンジャにたいせつなのはべんきょう?」「せいかく別々の2人の先生?!」「あぶないきょうてき?!」——。印象的なキャッチコピーとかわいいイラストが読者の興味をかきたてます。

市川さんは入学以来320冊以上読んだという本好き。「自分なら帯にどんな

ことを書こうかな」と考えながら読むことも多いそうです。今回は、忍者に興味があつたこともあり、この本を選びました。伝えたいと感じたことをノートに全部書き出して絞り込み、字の太さや色づかい、イラストなど、デザインにも気を配って仕上げました。「入賞はびっくりしました。来年は自分が作った帯を付けた本が本屋さん並ぶように頑張ります」。表彰式ではベルマーク財団の平井公・常務理事から賞状と副賞の図書カードが手渡されました。

入賞者一覧と主な入賞作は大阪府書店商業組合のHPでご覧になれます。ベルマーク賞の創設を機に、同組合に加盟する大阪府内の約250の書店がベルマーク収集への協力を始めています。

### 2018 第14回大阪こども本の帯創作コンクール



(写真左)入賞したみなさん  
(右)上)ベルマーク賞の贈呈  
(右中)市川翔子さん  
(右)下)本に装着された市川さんの作品



## レモネード大作戦、10万円寄付

### 西日本豪雨の援助に／関西学院大の学生

「明日からレモネードを売って、その売上金を西日本豪雨被災地に援助したいのですが……」

こんな電話がありました。関西学院大学で10月16日から開かれる生協祭にレモネードのスタンドを出す学生たちです。その後、目標の売り上げ1000杯を達成したからと、財団に10万円が振り込まれました。領収書の宛名を聞くと、その返事は「レモネード大作戦」。

連絡をくれた理工学部の竹本みぞれさんと人間福祉学部の森美月さんに話を聞きました。学部の違う二人は、熊本地震のボランティア活動で知り合いました。今回の西日本豪雨で、何か募金活動はできないかと、仲間たちとレモネード販売を計画。仕入れ先を探していたら、趣旨に賛同した広島県の2農家が、レモンを800個無償で送ってくれたそうです。売上を寄付する先にベルマーク財団



(上)左端が森美月さん (下)竹本みぞれさん



を選んだのは、使い道が具体的だったから。「子どもたちのために使われるって、いいよね」。ベルマークならみんな知っていることも大きかったそう。「私たちも子どもの頃、マークを切っていましたから」。

関わった方は計27人にもものぼるそうです。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

## すべり台が世代交代

### ゾウからハリネズミへ／静岡・黒田幼稚園

静岡県富士宮市の学校法人とくのう学園黒田幼稚園(吉野けい子園長・園児270人)に、このほどハリネズミのすべり台が届きました。20年前にベルマークで購入したゾウさんのすべり台が老朽化してきたための買い替えで、今回もベルマーク預金で購入しました。

同園は1984年にベルマーク運動に参加。父母の会の「ベルマークママ」16人が中心となって活発に活動しています。近隣では、黒田幼稚園に入園したと話すと「ではベルマーク集めておくれ!」と言われるほど、黒田幼稚園=ベルマークの印象が強いそうです。

これまでに集めたマークの累計は600万点以上。初代すべり台の「ゾウさん」をはじめ、アップライトピアノ、からくり時計、交通安全教室で使うウサギやゾウの着ぐるみなど様々なものを買ってきました。園児の意識も高く、月100

枚集めてくる子もいるそうです。

二代目すべり台のハリネズミは、背面にクライミング用のホールドも付いていて、あちこちからよじ登れるようになっています。ゾウさん同様に子どもたちに大人気だそうで、吉野園長は「皆さんが努力して集めたマークを形に残せるのは素晴らしいこと。引き続きベルマークを積極的に活用していきたい」と話していました。

